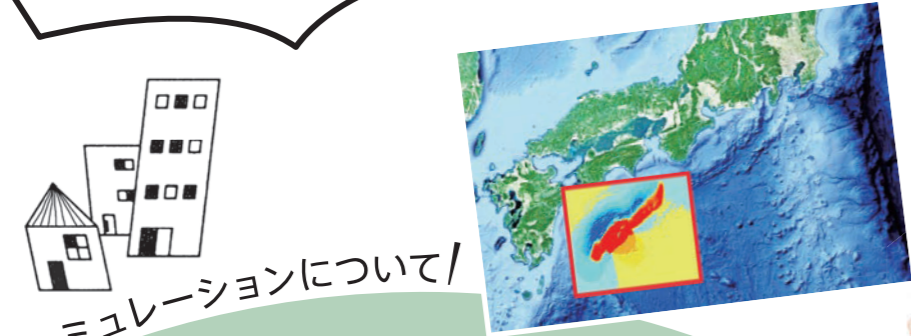


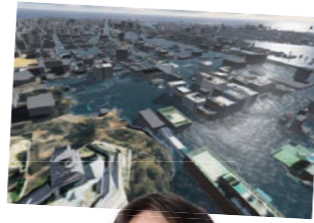
こんなことやってみませんか? 研究内容紹介

コースの先生たちは 地球規模の環境問題から身近なまちづくりまで、実に様々な分野について研究しています。ここではその幾つかをご紹介します!

災害シミュレーションについて!



自分の町にももしも津波がきたら、皆さんはどう行動しますか?
2011年の東日本大震災以降、日本各地で地震が発生しているように、地震活動期に入っています。西日本太平洋側沖を震源とする南海トラフ地震(たとえば上の図に示す赤色箇所が隆起し津波を発生するシナリオが検討されています)の発生確率が高くなったとの見方もあり、私の研究室ではその被害規模を見積もり、どこまで避難すべきかを検討するためのシミュレーションを開発しています。また解析結果をより現実な動画として描画する研究も実施中です。



構造解析学研究室
浅井先生



自然と人との関係を整える仕事!

土木という分野のとても大切な仕事の一つは、地震や洪水などの自然災害から私たちの暮らしを守ることです。一方で、自然は私たちの暮らしにたくさんの恵みを与えてくれる存在でもあります。さらに、自然はヒト以外の生き物にとって重要な住処であると同時に、地球環境の基盤そのものとも言えます。そのため自然環境を保全あるいは再生することも土木の分野の重要な仕事となっています。私の研究室では、このような自然と人との関係を整えるために必要な技術について教育研究に取り組んでいます。



流域システム
工学研究室
林先生



プロジェクトまちづくりについて!



八代高校出身
H26年度入学
森崎さん

最近よく耳にする「まちづくり」。でも、どうやったらできるのか知っていますか? この講義ではそれを0から学べます! 対象地は大学近くの北崎地区。学生が主体となり、北崎の方々と一緒にプランを考え抜きます。確かに数学のような明確な答えがあるわけではない上に、色々な制約条件に縛られながら進めるため難しい部分も多いです。しかしその分、仲間と共に何かを0から創り上げる楽しさややりがいはいはピカイチな講義です!



広島国泰寺高校出身
H26年度入学 藤川さん



諫早高校出身
H26年度入学
鶴田さん



筑紫丘高校出身
H26年度入学 木須さん

ここがオモシロイ! カリキュラム紹介

学生の皆さんが主体的に学ぶことのできるアクティブラーニングを積極的にカリキュラムに導入しています。学びを楽しみながら「未来の自分探し」をしてみてください。

プロジェクトものづくりについて!

土地と土地を結ぶだけでなく、人の思いをつなぐもの。それが、橋梁です。このプロジェクトものづくりでは、木・鋼・コンクリートの3つの材料別に橋梁を造ることを学びます。デザインを考えることから始め、安全な橋になるように設計します。そして、決められた予算の中から材料を調達し、皆さんの手で橋梁を造っていきます。地図に残る仕事を学んでみませんか?



広島国泰寺高校出身
H26年度入学 藤川さん

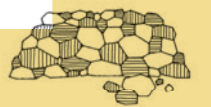


広島なぎさ高校出身
H26年度入学
濱中さん



実践教室について!

実践教室では、実験を通して授業で学んだ理論を確認します。ここでは特に3年生の前期に行われた石積みについて紹介します。実際の石工さんに大学に来ていただき、説明を受けたあと、実際に自分たちで石を積みました。思った通りに真っすぐ積上げていくのは難しく、日本の伝統技術の素晴らしさを体験することができました。このような理論を実践に生かすための工夫が散りばめられた授業のおかげで理解が深まります。



唐津東高校出身
H26年度入学
藤田さん



土木とまちづくり!

日本は人口減少、少子高齢化社会へと突入し、都市部・郊外住宅地・過疎地の、それぞれで地域の課題を抱えています。まちづくりは、こうした地域の課題解決に地域住民が主体となって継続的に取り組むものです。まちづくりの取り組みは全国的に広がっており、土木技術者がまちづくりに参加する場面は確実に増えています。私の研究室では、様々な課題に直面する地域に実際に赴き、住民のみなさんと地域の成り立ちや将来について話し合い、地域課題の解決や地域の将来に寄与する取り組みを考える実践的なまちづくり教育、研究を行っています。



景観研究室
榎本先生

